

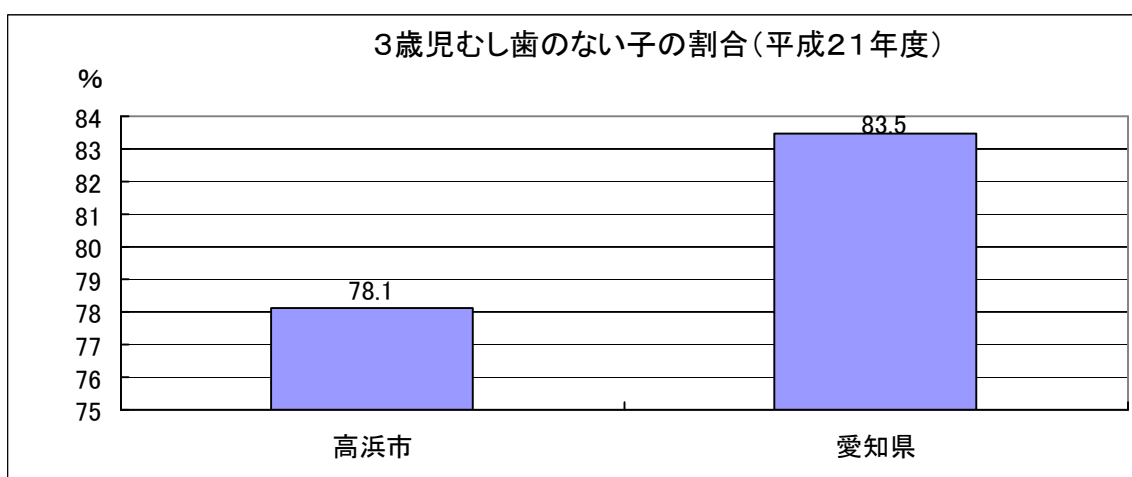
⑥ 歯の健康

現状

- 8020 運動※16を知っている人は、平成14年度43.7%から平成21年度には61.3%と改善しています。
- おやつに問題のある幼児の割合は、平成14年度33.2%から平成21年度には21.8%と改善しています。
- 飲み物に問題のある幼児の割合は、平成14年度52.8%から平成21年度には32.8%と改善しています。
- 1人平均むし歯数（12歳）は、平成14年度2.1本から平成21年度には1.07本と改善しています。
- むし歯のない幼児（3歳児）は、平成14年度75.0%から平成21年度には72.1%と低下しており、県平均82.5%と比較し一段と低くなっています。
- 歯磨きを1日2回以上する人は、平成14年度52.2%から平成21年度には32.9%と悪化しています。
- かかりつけ歯科医のいる人は、平成14年度41.0%から平成21年度には48.5%と改善しています。
- 成人歯科健診受診率は平成14年度4.6%から平成21年度には7.5%に改善しています。

また個人で定期的に歯科健康診査を受けている人の割合は、平成14年度9.3%から平成21年度には17.2%に改善しています。

「地域歯科保健業務状況報告より」



※16 「8020運動」

8020運動とは、「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。平成元年、厚生労働省と日本歯科医師会が提唱し、広く国民に呼びかけられています。

課題

- いつまでも自分の歯で楽しく食事や会話ができるよう、ライフサイクルに応じた食習慣や歯磨き方法についての継続した啓発が必要です。
- むし歯のない3歳児の割合を増やすため、1歳6か月児健診時、2歳・2歳6か月児歯科健診時に、間食を含めた規則正しい食習慣、歯磨き習慣の普及をすることが必要です。また就園後も、継続した歯磨き指導が必要です。
- 歯の健康を保つため、かかりつけ歯科医への定期的な受診が必要です。
- 歯科健診受診勧奨や、歯間部清掃用器具の使い方の啓発なども重要です。

健康豆知識

1歳6か月児から3歳の子にむし歯のある子が急増！！

乳歯は永久歯に比べて歯は表面のエナメル質が薄く、柔らかいのでむし歯になりやすいという特徴があります。また、まだ一人では上手に歯を磨けない時期でもあります。

グラフのとおり、1歳6か月から3歳までの間に、むし歯になる子が急激に増えています。就寝中は唾液の分泌量が少なくなり、むし歯になりやすくなります。また就寝時の授乳や哺乳瓶使用は特にむし歯の原因といわれています。

食べたらずきるのは基本ですが、特に就寝前の親による仕上げ磨きは重要です。また、乳歯の歯並びや丈夫な歯を作るためには、バランスのとれた食事と、軟食に偏らず歯ごたえのある食品を選び、よくかんで食べることが重要です。

「平成21年高浜市歯科健診結果より」

